

航貨際 第45号
2023年7月10日

荷主各位
国際宅配便事業者各位

一社) 航空貨物運送協会 (JAFA)
国際宅配便業務委員会
事務局

国際宅配便利用時の梱包強化のお願い

平素は当協会へのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当国際宅配便業務委員会では、荷主への啓発活動として、航空輸送に耐え得る梱包強化について2022年度検証と検討を行って参りました。

特に梱包における脆弱梱包が原因で商品に損傷を与えるケースが発生しており、輸出時の梱包改善、強化を依頼しております。

改めまして国際宅配便をご利用時には、十分な強度のある梱包を施していただき、梱包強化にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

● お引渡し時の商品梱包について

航空貨物は、全世界へ商品を迅速、確実かつ安全に輸送することが求められ、そのためには輸送に耐えうる梱包が必要となります。また、航空会社の加盟するIATA(国際航空運送協会)の規定では、「通常の取扱い状況下で安全に運送できる梱包を行うことと、通常の運送で発生するあらゆる事象に耐えられる梱包を行うことは、荷主の責任である」との記載もございます。

脆弱な梱包をされますと、

- 1) 商品に破損・変質等が発生し易く、お届け先からのクレームとなります。
- 2) 航空機搭載時に荷崩れや内容物の破損により、他の貨物、及び航空機に損傷を与える可能性があり、場合によっては他の貨物へ与えた損害、航空機機体の修復、清掃に要した費用を請求される可能性がございます。
- 3) 航空機への貨物搭載に時間を要することで、航空機の定時運航に影響を与えます。
- 4) 梱包物、包装物の変形等により航空機に効率的な積み付けが出来ず、限られた貨物スペースの有効活用が図れなくなる可能性がございます。航空機スペースの搭載の可能な全体貨物量が減少することで、予約航空便に搭載が不可能となり、輸送コストが高くなる原因となる可能性がございます。

- 段ボール梱包について

紙箱の代表的なものとして段ボール箱がございますが、海外向け輸送で利用する段ボール箱は、海外輸出に適した添付の段ボールのご利用をお勧めします。

また、必要な貨物ラベル(大きさ：102mm×128mm 等)が貼れる面が取れる大きさも必要となりますので、詳しくはご利用の国際宅配便事業者へお尋ね下さい。

- 包装物の強度について

航空機への搭載では、最大高さ 3m までの段積みを行う場合がございます。下段に積まれた貨物は、上段の貨物の自重に加え、航空機が運航中に受ける荷重(通常 2G 程度)も合わせて受けることになります。これらを考慮した上で、段ボール箱については十分な強度を持った材質・構造のものをご用意いただく必要がございます。

業界の調査では、貨物受託時に「不適切梱包」と判定された貨物の 56%が段ボール梱包貨物であり、不適切と判定された理由の 33%が強度不足となっております。また、輸送中は航空機の離発着や巡航時、乱気流に遭遇した場合に荷重がかかる場合がございます。

是非皆様の大切な商品、お荷物を安全・確実に輸送する為にも、十分な強度のある段ボール箱のご利用と包装を施していただきますようお願い申し上げます。

(一部、JAF-BIAC 共同研究会作成「航空貨物梱包要領」から抜粋・編集)

以上

大切なお荷物の破損を防ぐため、 国際輸送に適した梱包をお願いします



国際輸送では、荷崩れ、積込・荷卸時の貨物破損、雨水の浸入等
さまざまなリスクにさらされています。
このようなリスクを軽減するためにも梱包の強化をお願いします。

梱包が不十分な事例



※強度不足



※緩衝材なし



※隙間あり



※バンド掛け

梱包事例

※粘着テープで強度を保つ



※ダブルカートンの利用



※隙間を作らない、緩衝材の利用



各種梱包資材もご用意していますので、お取扱い代理店へお問い合わせください。



マールス社様提供



TANAX社様提供



ヤマト運輸様提供

提供：国際宅配便業務委員会

